

令和5年度環境活動報告

部局名： 応用生物科学部

<p>教育</p>	<p>①環境科学に関する以下のとおり講義、実習・実験、演習を実施し理解と知識技術の習得に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年次セミナー(1年生): 講演「岐阜大学の環境の取り組み」を開講 ・生物環境科学概論(1年生): 生物環境科学の概念 ・教養の環境学(1・2年生): 生物の多様性と人間社会に関する諸問題 ・現代環境学(生物多様性を支える森林と動物たち)・(世界の食料と人口問題)・(世界の農業事情)(1年生): 現代社会の深刻な環境問題を多面的に理解 ・フィールド科学基礎・応用実習(1年生): 森林生態系・農林業の基礎とフィールドワーク ・植物生態学(2年生): 生態系の概念の把握 ・土壌環境学(2年生): 土壌の諸特性と環境因子 ・水文学(2年生): 水環境と物質循環のメカニズム ・動物生態学(2年生): 生物の多様性と動物個体群育 ・農業気象学(2年生): 気象と生物生産さらに地球環境問題との関係 ・バイオマス化学(3年生): 環境を重視したバイオマス利用に関する最新の技術 ・環境微生物化学(3年生): 環境汚染における微生物による科学的役割 ・環境微生物工学(3年生): 環境汚染に対する微生物学的修復 ・公衆衛生学(3年生): 公害、地球温暖化等の環境問題に関する知識と考え方 ・環境衛生学(3年生): 環境問題を体系的に学び、改善に向けた知識と考え方 ・水圏環境生態学(3年生): 水田、水路等の環境と生物多様性保全 ・環境施設学(3年生): 農業用水路など農業施設の環境配慮 ・ビオトープ論(3・4年生): 身近な自然保護・環境保全 ・農業環境修復学(3・4年生): 安定した農業生産のための環境修復 ・野生動物医学(3年生): 野生動物を含めた環境保全に関する獣医学的アプローチ・環境再生医プログラム ・生態保全管理学特別演習(6年生): 生態系の一構成要素である野生動物の、保全を含む管理の概念や手法 <p>②実験・実習のための安全マニュアルに基づく講習会として、薬品管理支援システムに関する講習会や寒剤・高圧ガス取扱講習会を受講するよう、対象者に案内・依頼している。(R5.4)</p> <p>③実験・実習のための安全マニュアルを配信する(R5.4)とともに、安全教育の実施を徹底するため教育訓練記録簿の作成・管理を行い、全研究室において安全教育が実施されたことを確認した。</p>
<p>研究</p>	<p>①学部教員の中で環境、生態系保全、環境保全などをキーワードにした研究を行っている。</p> <p>例えばresearchmapデータから2023年を出版年として「環境(environment)、保全(conservation)、生態系(ecosystem)」をタイトルに含む論文・書籍等出版物が11編あったことをはじめ、農業に関連した題材や生態系に関連した研究テーマで競争的資金を獲得するとともに共同研究を実施している。また関連するシンポジウム講演等の学術貢献活動も実施している。</p> <p>②応用生物科学部野生動物管理学研究センターでは、野生動物広域カメラモニタリング調査等の保護管理や鳥獣害対策に関する基礎研究活動を実施した。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">社会連携</p>	<p>①位山演習林 公開講座「～冬の森を歩こう～」(R6.2.17)、「～紅葉の森を歩こう～」(R5.10.28)、「～新緑を歩こう～」(R5.5.13)の開催。天然林を森林散策し、木観察や野生動物の痕跡など、貴重な自然観察とともに、環境への意識を新たにした。</p> <p>②岐阜大学公開講座 中学生のための体験科学講座「あなたも科学者！」(R5.10.14)の開催。微生物、植物、産業動物を題材に、有意義な理科実験を体験した。</p> <p>③岐阜フィールド科学教育研究センター公開講座「食べられる生命ー肉と卵と牛乳の科学と実際ー」(R6.1.20、27)の開催。身近な食材である肉、卵、牛乳について、実際に家畜に触れ合う機会を持ち、楽しく学習した。</p> <p>④岐阜県野生動物管理推進センター主催の市民向け連続講座開催に協力した。</p> <p>⑤岐阜県博物館・岐阜大学・名古屋大学博物館連携企画展『おもしろい骨のはなし しらべる・つくる・のこす』(R5.10.23～12.6)への参画</p> <p>⑥公開講座「虫や花の気持ちで自然を観察してみよう！ デジタルカメラ撮影で時間の速さを変えて！」(R5.8.20)開催</p> <p>⑦岐阜県をはじめとする地方自治体の環境関連の委員会等に教員が参画し、地域の環境行政に貢献している。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">キャンパスプラン</p>	<p>①ISO14001教育訓練再確認シートにより自己啓発に努めるとともに、「ISO14001環境マネジメントシステム」の一層の推進を図った。</p> <p>②今年度2回行われたクリーンキャンパスに対し、多数の教職員・学生の参加により、環境に対する意識の向上を図ることができた。</p> <p>③省エネ・環境対策として、各研究室(実験室)の電気使用量を毎月の教授会で報告するとともに講義室・研究室等に省エネポスターを掲示し、教職員・学生の省エネに対する啓発を行った。</p> <p>④学部の安全衛生推進室が作成した「実験・実習のための安全衛生・環境マニュアル」を使用して、全ての研究室を対象に研修を実施した。教育訓練記録簿により受講確認を行った。</p> <p>⑤学部の資源別回収要領や廃棄物分別手引きに基づき適切な処理に努めた。</p>